

国保料引き下げ、改善に向けた10万人署名運動

熊本市国保をよくする会趣意書

呼びかけ人 高林 秀明
学園大学、社会福祉学部 准教授（地域福祉論）

呼びかけ人 梶原 敏明
熊本民主商工会副会長、二つ茶屋店主

呼びかけ人 矢野 道弘
司法書士、熊本県司法書士会副会長

今、熊本市の国保加入世帯の8割が年所得200万円以下で、多くが自営業者や高齢者、賃金の低い労働者、無職の人たちです。保険料の算定は所得額が200万円（40代の両親と10代の子供2人）で39万円を超える金額になっています。

保険料の支払が遅れている世帯のペナルティとして発行されている短期保険証（3ヶ月、6ヶ月）は2万世帯にもなり全国でも突出しています。又、窓口での治療費全額負担の資格証明書も約500世帯になっています。さらに、保険証の期限が切れても支払ができないため、新しい保険証が受け取れず窓口に留め置かれ、保険証のない世帯が約8000世帯になっています。保険料が高すぎ払えない世帯が増え病気になっても受診を我慢し、受診したときには手遅れになったと思われる事例が報告されています。

私たちは熊本市の国民保険財政への国庫補助金を以前の水準に引き上げるように強く国（政府）に働きかけるとともに一般会計からの繰入金増額で国民健康保険料を引き下げるべきだと考えます。そして滞納を理由にした短期保険証や資格証明書の発行をやめ速やかに保険証を届けること、保険料の減免制度を充実させ、国民健康保険法第44条の適用で医療費の窓口負担を軽減することが求められています。

国民健康保険は、憲法25条の社会保障の理念にもとづくいのちと健康を守る国民皆保険の土台です。国民健康保険の負担と給付水準は共済や組合、協会けんぽ等の各種健康保険と密接に関連・連動しており、国民健康保険の改善は、日本の医療保障全体を底上げすることであり、市民・国民の共通の課題です。熊本市の国民健康保険制度を誰もが安心して医療を受けられる制度として確立するように「熊本市国保をよくする会」を発足させ値下げの署名10万人をめざして運動を広げていきます。

請願事項

- 1 国民健康保険料を引き下げること。
- 2 国庫負担の引き上げを国に要望すること。
- 3 資格証明書、短期保険証の発行をやめること

熊本市国保をよくする会

【会則】

- | | |
|---------|--|
| 1 名称 | 名称を「熊本市国保をよくする会」とする |
| 2 事務所 | 事務局を熊本民商内に置く |
| 3 目的 | 熊本市の国保料引き下げと保険証の完全交付などの改善をはかる |
| 4 役員 | 世話人会を構成し、代表、副代表、事務局長をおく
月1回程度の世話人会を開く |
| 5 事務局 | 若干名で事務局を構成し、日常の業務を行う |
| 6 財政 | 団体、個人からの賛同募金でまかなう |
| 7 運動の課題 | ①9月までに10万人の署名を集める
その推進のためにブロック・校区に署名推進委員会を結成する
署名推進人（署名を集める人）を5000人規模で組織する
②国保の実態調査を行って、世論に訴えていく
そのために実態調査チームを作る
・無保険状態の実態を告発していく
・高すぎる保険料の実態を市民に知らせる
・高すぎる国保料で苦しんでいる市民との共同のもと、いのちと健康に係わる広範な市民と団体が共感して運動を広げるようにする
・パワーポイント、パンフ等を使った学習会を開催する
・宣伝行動を全市民向けに旺盛に展開する |

経過

- | | | |
|----|-----|--------------------|
| 2/ | 1 2 | 民商、民医連での会議（事務局体制等） |
| | 2 4 | 事務局会議 |
| 3/ | 3 | 事務局会議 |
| | 1 0 | 事務局会議 |
| | 1 7 | 事務局会議 |
| | 2 4 | 事務局会議 |
| | 3 1 | 事務局会議 |
| 4/ | 2 | 呼びかけ人会議 |
| | 7 | 事務局会議 |
| | 1 4 | 事務局会議 |
| | 2 1 | 事務局会議 |
| | 2 3 | 準備会（市青年会館） |
| 5/ | 1 0 | 事務局会議 |
| | 1 7 | アンケート打ち合わせ会議 |
| | 2 1 | 準備会 |
| | 2 8 | 結成総会 |